償いの河

佐々木海彦

すれ違う二人連れ
足が止まり　胸が震えた
忘れえぬ横顔
過ぎ行く　後ろ姿　か弱げで
愛しさ募り　涙溢れる
幸せになれと　祈り続けた日々
傍らのその男（ひと）は
君を抱き締めているか
初めての口づけは
戯れでも　本物だった
幸せの形は
作れず　夢だけで　消えた恋
償いの河　水嵩（みずかさ）増して
渡れないこと　気づかせて流れる
身を寄せるその男（ひと）は
君を抱き締めているか

人生の旅続く

歩き続け　また立ち止まる

道標（みちしるべ）探して

心に潜む君に　たどり着く

償いの河　水嵩（みずかさ）増して

渡れないこと　気づかせて流れる

身を寄せるその男（ひと）は

君を抱き締めているか